

令和6年度厚生労働科学研究費補助金

障害者政策総合研究事業

高次脳機能障害の診療に係る実態把握と
課題の検討のための研究

令和6年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 今橋久美子

令和7年（2025）年 3月

目 次

I. 総括研究報告	
高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究	1
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	6

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
総括研究報告書

高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究

研究代表者 今橋 久美子 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 室長

研究要旨

高次脳機能障害の適切な診療に結びつける上で課題となっている事項を明らかにすることを目的として後方視的調査を開始し、30 機関から 532 ケースのデータを得た。次年度にかけて引き続きデータ収集を行う。

研究分担者

浦上 裕子 国立障害者リハビリテーションセンター
立石 博章 同上（関東甲信越担当）
向野 雅彦 北海道大学（北海道担当）
藤盛 寿一 東北医科薬科大学（東北担当）
渡邊 修 東京都立大学大学院（東京担当）
間瀬 光人 名古屋市立大学（東海担当）
小林 康孝 福井医療大学（北陸担当）
土岐 明子 大阪急性期・総合医療センター（近畿担当）
平岡 崇 川崎医科大学（中国担当）
高木 康志 徳島大学（四国担当）
佐伯 覚 産業医科大学（九州・沖縄担当）

研究協力者

玉川 侑那 北海道大学病院
目黒 祐子 東北医科薬科大学病院
稲垣 亜紀 名古屋市総合リハビリテーションセンターなごや高次脳機能障害支援センター
長野 友里 同上
佐野 恭子 同上
中島 裕也 福井医療大学
八木 真美 川崎医科大学附属病院

原 慶次郎 徳島大学病院
蜂須賀明子 産業医科大学
堀 諒子 同上
尾崎 文 同上
蟻川 麻紀 産業医科大学病院

A. 研究目的

高次脳機能障害は、しばしば外傷性脳損傷や脳血管障害等に伴い発症することがあるが、医療機関等における認知が十分ではないために早期の診断や治療につながっていない可能性や、診断が見過ごされている可能性が指摘されている。また、高次脳機能障害の診断までに要する期間や、現状において高次脳機能障害の診断を行っている医療機関及び診療科等など、その実態は明らかにされていない。

そこで本研究は、現在高次脳機能障害の診断を受けている人を後方視的に調査し、実態を把握し、適切な診断に結びつける上で課題となっている事項を明らかにすることを目的とする。

B. 研究方法

高次脳機能障害支援拠点機関等（約 120

か所)を対象に質問紙調査を行う。受診/利用者のうち高次脳機能障害と診断されている人について、年齢、性別、原因傷病、診断までの期間、診断した医療機関(診療科)、最初に相談をした場所、障害者手帳取得までの期間、診断後の診療状況等を、専門職(支援コーディネーター)等が回答する(表1)。データ収集にあたり、全都道府県を10ブロックに分け、研究分担者が各担当ブロックのとりまとめを行う。

表1 調査項目

生年・性別
高次脳機能障害の原因傷病・発症(受傷)年月
急性期病院での状況
発症(受傷)後に治療を受けた病院の種類
回復期病院退院時における支援機関や相談先の情報提供
発症(受傷)後～診断までの間に相談した機関
高次脳機能障害の診断を受けた病院・診療科(A)
(A)初診日・どのように知ったか・受診したきっかけ
(A)で診断を受けた後に利用したサービス
診断後最初に相談した機関(B)に初めて相談した日
障害者手帳取得状況
現在の状況
現在の課題・それをどこがサポートしてきたか
発症(受傷)から(A)の初診日までの期

間(年)
(A)を受診するまでに時間がかかったことによる弊害
発症(受傷)から(B)の初回相談日までの期間(年)
支援が途絶えた時期
支援開始が遅れた理由

C. 結果

後方視的調査の実施について、研究代表機関にて研究倫理審査の承認を受けた。研究分担者が各所属機関での承認が下り次第、順次調査を開始し、30機関から532ケースのデータを得た。引き続きデータ収集を行う。

D. 考察

次年度にかけて収集したデータを分析し、発症から社会復帰までの過程において、どのタイミングでどのようなシステムあるいは介入があれば、サポートの切れ目なく円滑に社会に復帰できるようになるのかを明らかにする。その知見に基づき、発症→診断評価→リハビリテーション→社会復帰までの標準パスを作成する。また体制構築に注力すべき対象を明確にするとともに、診断・評価・リハビリテーション・生活支援等が可能な社会資源等を確保・明確化し、地域ごとにリストアップする。さらに、それらの情報を高次脳機能障害の支援に関連するWebサイト等にて公開する予定である。

E. 結論

高次脳機能障害の適切な診療に結びつける上で課題となっている事項を明らかにすることを目的として、後方視的調査を開始

し、30機関から532ケースのデータを得た。
次年度にかけて引き続きデータ収集を行う。

F. 研究発表

1. 論文発表

1. 渡邊 修. 高次脳機能障害者を地域で支える 地域のネットワークと家族支援. 総合リハ, 52, 891-897, 2024
2. 渡邊 修. 高次脳機能障害者に対する地域リハビリテーション医療. 言語聴覚研究, 21, 441-452, 2024
3. 渡邊 修. 頭部外傷による高次脳機能障害の評価と社会復帰における課題-医療の立場から-. 賠償科学, 52, 17-23, 2024
4. 杉本香苗, 伊藤英明, 佐伯覚. 脳卒中生活期-QOL向上にむけて. 就労・復職, 総合リハ, 53(2), 155-160, 2025
5. 佐伯覚. 外傷性脳損傷の高次脳機能障害, 日本賠償科学会雑誌, 52, 6-10, 2024
6. 加藤徳明, 村上美紀, 佐伯覚. 脳卒中の合併症と自動車運転再開 一半盲患者への対応-. Jpn J Rehabil Med, 61(8), 736-742, 2024
7. 中島裕也, 川端香, 下川幸蔵, 佐藤万美子, 小林康孝. 視覚認知障害が移動能力に及ぼす影響とその支援についての新知見. 作業療法, 43(2), 254-263, 2024
8. 川端香, 中島裕也, 藤田和樹, 佐藤万美子, 林幸司, 小林康孝. 高齢ドライバーに対する危険予知トレーニングの試み. 日本安全運転医療学会誌, 4(1), 48-60, 2024
9. 藤田和樹, 小林康孝, 一杉 正仁. 自動車運転時のペダル踏み間違いに関する運動生理学的検討. 日本交通科学学会誌, 24(1), 3-13, 2024
10. 曾根 大地, 品川 俊一郎, 藤盛 寿一, 高尾 昌樹, 兼本 浩祐. 「精神神経医学」を再考する 精神医学と神経医学のボーダーランド. 精神神経学雑誌, 126, 577-588, 2024
11. 根井 道子, 及川 寛未, 阿部 美和子, 鳥居 みえ, 中村 正史, 藤盛 寿一, 半田 厚子, 中島 一郎. 質問表を利用した多発性硬化症患者への面談介入によるQOL変化の分析(第1報). 臨床神経学, 64, S433, 2024
12. 新野 正明, 福元 尚子, 宮崎 雄生, 三條 伸夫, 大橋 高志, 竹内 英之, 藤盛 寿一, 奥野 龍禎, 深浦 彦彰, 清水 優子, 高橋 恵里, 三船 恒裕. 日本人多発性硬化症患者における認知機能とQOL, 疲労, 抑うつ の縦断的解析. 臨床神経学, 64, S236, 2024
13. 横手 裕明, 宮崎 雄生, 藤盛 寿一, 融 衆太, 三浦 義治, 新野 正明, 中島 一郎, 西田 陽一郎, 横田 隆徳. MS 【WS3】日本人多発性硬化症患者におけるslowly expanding lesionと疾患活動性・脳萎縮進行の関連性. 神経免疫学, 29, 222, 2024
14. 西原 秀昭, 松尾 欣哉, Fujisawa Miwako, Engelhardt Britta, 宮崎 雄生, 新野 正明, 藤盛 寿一, 中島 一郎, 中森 雅之. 血液脳関門破綻が多発性硬化症の臨床病型に与える影響の解析. 神経免疫学, 29, 171, 2024
15. Yuya Nakajima, Nobuhiro Takahashi, Kaori Kawabata, Kazuki Fujita, Kaikuichi Shiomi, Mamiko Sato, Naoto Omata, Yasutaka Kobayashi. Charact

- eristics of Visual Cognition in Patients with Anoxic Encephalopathy: An Eye-tracking Study. *Progress in Rehabilitation Medicine*, 9, 2024
16. Kazuhiro Okamoto, Kengo Hoyano, Yoshitomo Saiki, Tomomi Nomura, Keisuke Irie, Naoya Obama, Narihiro Kodama, Yasutaka Kobayashi. Predictive brain activity related to auditory information is associated with performance in speech comprehension tasks in noisy environments. *Frontiers in Human Neuroscience*, 18, 2024
 17. Kaori Kawabata, Yuya Nakajima, Kazuki Fujita, Mamiko Sato, Koji Hayashi, Yasutaka Kobayashi. Pilot Study on Gaze Characteristics of Older Drivers While Watching Driving Movies. *Geriatrics*, 9(5), 132, 2024
 18. Nobuhiro Takahashi, Mimpei Kawamura, Mamiko Sato, Yasutaka Kobayashi. A Case of Mirror-Image Crossed Thalamic Aphasia With Jargon Agraphia. *Cureus*, 16(5), 2024
 19. Akaishi T, Misu T, Takahashi T, Fujihara K, Fujimori J, Nakashima I, et al. Stochastic models for the onset and disease course of multiple sclerosis. *Clin Neurol Neurosurg*, 239, 108224, 2024
 20. Akaishi T, Fujimori J, Yokote H, Nakashima I. Continuous diffuse brain atrophy independent of relapse as a hallmark of multiple sclerosis beginning from relapsing-remitting stage. *Clin Neurol Neurosurg*, 242, 108342, 2024
 21. Yokote H, Miyazaki Y, Fujimori J, Nishida Y, Toru S, Niino M, et al. Characterization of Japanese multiple sclerosis patients with progression independent of relapse activity: A 2-year multicenter cohort study. *J Neuroimmunol*, 394, 578407, 2024
 22. Yokote H, Miyazaki Y, Fujimori J, Nishida Y, Toru S, Niino M, et al. Slowly expanding lesions are associated with disease activity and gray matter loss in relapse-onset multiple sclerosis. *J Neuroimaging*, 34, 758, 2024
 23. Muryoi A, Nei M, Fujimori J, Nakashima I. Clinical value of the Japanese version of patient-reported multiple sclerosis neuropsychological screening questionnaire. *Clinical and Experimental Neuroimmunology*. n/a. 2025
 24. Fujimori J, Nei M, Nakashima I. Quality of life in patients with multiple sclerosis. *Multiple Sclerosis Journal*, 30, 728, 2024
 25. Nishihara H, Matsuo K, Fujisawa M, Engelhardt B, Miyazaki Y, Niino M, Fujimori J, Nakashima I, Nakamori M. Analyzing the Impact of Blood-Brain Barrier Dysfunction on Clinical Phenotypes in Multiple Sclerosis. *Multiple Sclerosis Journal*, 30, 1149, 2024

26. Umezawa S, Matsumoto Y, Tatewaki Y, Sakamoto N, Yamamoto N, Yamazaki N, Namatame C, Ono H, Kaneko K, Takai Y, Kuroda H, Fujihara K, Fujimori J, Misu T, Taki Y, Aoki M. Time-series analysis of information processing speed indicates white matter integrity changes in patients with multiple sclerosis. *Multiple Sclerosis Journal*, 30, 931-2, 2024

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
渡邊 修	脳血管障害からの運転再開の判断基準	堀川悦夫, 朝田 隆	あらためて症例から考える 高齢者の自動車運転	中外医学社	東京	2024	119-128
小林康孝	地域における運転再開支援の必要性と実際	武原格, 一杉正仁, 渡邊修	脳卒中後の自動車運転再開の手引き	医歯薬出版	東京	2024	145-154

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
渡邊 修	高次脳機能障害者を地域で支える 地域のネットワークと家族支援	総合リハ	52	891-897	2024
渡邊 修	高次脳機能障害者に対する地域リハビリテーション医療	言語聴覚研究	21	441-452	2024
渡邊 修	頭部外傷による高次脳機能障害の評価と社会復帰における課題-医療の立場から-	賠償科学	52	17-23	2024
杉本香苗, 伊藤英明, 佐伯覚	脳卒中生活期-QOL向上にむけて. 就労・復職	総合リハ	53(2)	155-160	2025
佐伯覚	外傷性脳損傷の高次脳機能障害	日本賠償科学会雑誌	52	6-10	2024
加藤徳明, 村上美紀, 佐伯覚	脳卒中の合併症と自動車運転再開 ー半盲患者への対応ー	Jpn J Rehabil Med	61(8)	736-742	2024
中島裕也, 川端香, 下川幸蔵, 佐藤万 美子, 小林康孝	視覚認知障害が移動能力に及ぼす影響とその支援についての新知見	作業療法	43(2)	254-263	2024

川端香, 中島裕也, 藤田和樹, 佐藤万美子, 林幸司, 小林康孝	高齢ドライバーに対する危険予知トレーニングの試み	日本安全運転医療学会誌	4(1)	48-60	2024
藤田和樹, 小林康孝, 一杉 正仁	自動車運転時のペダル踏み間違いに関する運動生理学的検討	日本交通科学学会誌	24(1)	3-13	2024
曾根 大地, 品川俊一郎, 藤盛 寿一, 高尾 昌樹, 兼本 浩祐.	「精神神経医学」を再考する 精神医学と神経医学のボーダーランド.	精神神経学雑誌.	126	577-588	2024
根井 道子, 及川寛未, 阿部 美和子, 鳥居 みえ, 中村 正史, 藤盛 寿一, 半田 厚子, 中島 一郎.	質問表を利用した多発性硬化症患者への面談介入によるQOL変化の分析(第1報).	臨床神経学	64	S433	2024
新野 正明, 福元尚子, 宮崎 雄生, 三條 伸夫, 大橋高志, 竹内 英之, 藤盛 寿一, 奥野 龍禎, 深浦彦彰, 清水 優子, 高橋 恵里, 三船恒裕.	日本人多発性硬化症患者における認知機能とQOL, 疲労, 抑うつ の縦断的解析.	臨床神経学	64	S236	2024
横手 裕明, 宮崎雄生, 藤盛 寿一, 融 衆太, 三浦 義治, 新野 正明, 中島 一郎, 西田 陽一郎, 横田 隆徳.	MS【WS3】日本人多発性硬化症患者におけるslowly expanding lesionと疾患活動性・脳萎縮進行の関連性.	神経免疫学	29	222	2024
西原 秀昭, 松尾欣哉, Fujisawa M, iwako, Engelhardt Britta, 宮崎雄生, 新野 正明, 藤盛 寿一, 中島 一郎, 中森 雅之.	血液脳関門破綻が多発性硬化症の臨床病型に与える影響の解析.	神経免疫学	29	171	2024

Yuya Nakajima, Nobuhiro Takahashi, Kaori Kawabata, Kazuki Fujita, Kakuichi Shiozumi, Mamiko Sato, Naoto Omata, Yasutaka Kobayashi	Characteristics of Visual Cognition in Patients with Anoxic Encephalopathy: An Eye-tracking Study	Progress in Rehabilitation Medicine	9		2024
Kazuhiro Okamoto, Kengo Hoyano, Yoshitomo Saiki, Tomomi Nomura, Keisuke Irie, Naoya Obama, Naorihiro Kodama, Yasutaka Kobayashi	Predictive brain activity related to auditory information is associated with performance in speech comprehension tasks in noisy environments	Frontiers in Human Neuroscience	18		2024
Kaori Kawabata, Yuya Nakajima, Kazuki Fujita, Mamiko Sato, Koji Hayashi, Yasutaka Kobayashi	Pilot Study on Gaze Characteristics of Older Drivers While Watching Driving Movies	Geriatrics	9(5)	132	2024
Nobuhiro Takahashi, Mimpei Kawamura, Mamiko Sato, Yasutaka Kobayashi	A Case of Mirror-Image Crossed Thalamic Aphasia With Jargon Aphasia	Cureus	16(5)		2024
Akaishi T, Misu T, Takahashi T, Fujihara K, Fujimori J, Nakashima I, et al.	Stochastic models for the onset and disease course of multiple sclerosis.	Clin Neurol Neurosurg.	N239	108224	2024
Akaishi T, Fujimori J, Yokote H, Nakashima I.	Continuous diffuse brain atrophy independent of relapse as a hallmark of multiple sclerosis beginning from relapsing-remitting stage.	Clin Neurol Neurosurg.	N242	108342	2024

Yokote H, Miyazaki Y, Fujimori J, Nishida Y, Toru S, Niino M, et al.	Characterization of Japanese multiple sclerosis patients with progression independent of relapse activity: A 2-year multicenter cohort study.	J Neuroimmunol.	394	578407	2024
Yokote H, Miyazaki Y, Fujimori J, Nishida Y, Toru S, Niino M, et al.	Slowly expanding lesions are associated with both disease activity and gray matter loss in relapse-onset multiple sclerosis.	J Neuroimaging.	34	758	2024
Muryoi A, Nei M, Fujimori J, Nakashima I.	Clinical value of the Japanese version of patient-reported multiple sclerosis neurological screening questionnaire.	Clinical and Experimental Neuroimmunology.	n/a.		2025
Fujimori J, Nei M, Nakashima I.	Quality of life in patients with multiple sclerosis.	Multiple Sclerosis Journal.	30	728	2024
Nishihara H, Matsuo K, Fujisawa M, Engelhardt B, Miyazaki Y, Niino M, Fujimori J, Nakashima I, Nakamori M.	Analyzing the Impact of Blood-Brain Barrier Dysfunction on Clinical Phenotypes in Multiple Sclerosis.	Multiple Sclerosis Journal.	30	1149	2024
Umezawa S, Matsumoto Y, Tatewaki Y, Sakamoto N, Yamamoto N, Yamazaki N, Namatame C, Ono H, Kaneko K, Takai Y, Kusuda H, Fujihara K, Fujimori J, Misu T, Taki Y, Aoki M.	Time-series analysis of information processing speed indicates white matter integrity changes in patients with multiple sclerosis.	Multiple Sclerosis Journal.	30	931-2	2024

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職 名 総長

氏 名 芳賀 信彦

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 高次脳機能障害情報・支援センター・高次脳機能障害支援推進官
(氏名・フリガナ) 立石 博章・タテイシ ヒロアキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	■ □	■	国立障害者リハビリテーションセンター	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□ ■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□ ■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	□ ■	□		□

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■ 未受講 □
-------------	------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ■ 無 □ (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ■ 無 □ (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ■ 無 □ (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 □ 無 ■ (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 北海道大学

所属研究機関長 職名 総長

氏名 寶金 清博

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 北海道大学病院・教授

(氏名・フリガナ) 向野 雅彦・ムカイノ マサヒコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

現在次年度の実施に向けて倫理審査を申請しており、審査が終了次第開始する予定。

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東北医科薬科大学所属研究機関長 職 名 学長氏 名 大野 勲

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 脳神経内科学・教授
(氏名・フリガナ) 藤盛 寿一・フジモリ ジュイチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東北医科薬科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名 称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: COI委員会未設置のため)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東京都立大学大学院

所属研究機関長 職名 人間健康科学研究科長

氏名 小林 法一

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 客員教授
(氏名・フリガナ) 渡邊 修・ワタナベ シュウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東京慈恵会医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：COI委員会未設置のため)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 福井医療大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 山口 明夫

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院保健医療学研究科・教授
(氏名・フリガナ) 小林 康孝・コバヤシ ヤスタカ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	新田塚医療福祉センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名 称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: COI委員会未設置のため)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: 国立障害者リハビリテーションセンター)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター
所属研究機関長 職名 総長
氏名 嶋津 岳士

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) リハビリテーション科 主任部長
(氏名・フリガナ) 土岐 明子 (トキ アキコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立障害者リハビリテーションセンター 大阪急性期・総合医療センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：COI委員会未設置のため)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 川崎医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 砂田 芳秀

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) リハビリテーション医学教室・准教授

(氏名・フリガナ) 平岡 崇・ヒラオカ タカシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立障害リハビリテーションセンター研究所	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 徳島大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 河村 保彦

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医歯薬学研究部脳神経外科学分野・教授
(氏名・フリガナ) 高木 康志・タカギ ヤスシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国立障害者リハビリテーションセンター	<input checked="" type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

現在、審査中

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 産業医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 上田 陽一

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) リハビリテーション医学講座・教授

(氏名・フリガナ) 佐伯 寛 ・ サエキ サトル

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	産業医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: COI委員会未設置のため)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。